

## 社長メッセージ

# 日本の電力の安定供給に貢献するとともに、 グローバルな事業展開を図ることで、 企業価値の持続的な成長を目指します。

2011年3月の東日本大震災以降、原子力発電所の停止の長期化により、不透明な電力需給が継続し、エネルギーコストが上昇し続ける中で、わが国の電気事業を取り巻く環境は極めて厳しいものとなっています。

それに加えて、原子力安全規制の強化、電力システムに関する改革方針の閣議決定、温暖化対策の見直しを含むエネルギー基本計画再構築作業の開始など、政府のエネルギー政策そのものが大きな転換期を迎えています。

こうした中、J-POWERグループでは、低廉かつ安定的な電力の供給、地球環境問題への対応、競争力と設備保全対策の強化、の3つが重要な課題となっています。

こうした課題に対処すべく、私たちJ-POWERグループは、国内外における中長期的な供給力増強を主とした「成長戦略」と、事業環境の変化を先取りした「事業基盤の強化」により、企業価値の持続的成長を図ってまいります。

「人々の求めるエネルギーを不断に提供する」ために私たちJ-POWERグループがなすべきことは、電力の安定供給に貢献することです。我が国の中期的な電力供給力確保のため、国内発電事業における供給力の増強に向けて、竹原火力のリプレースをはじめとする石炭火力の新増設の可能性を追求してまいります。

2012年10月より建設工事を再開した大間原子力発電所につきましては、新たな規制基準に適合させ、地域の皆さまから信頼される安全な発電所として確実に完成・稼働させるべく全力を挙げてまいります。

また私たちは、その事業を地球規模で、そして長期的な視点で展開することを目指しており、新興諸国が求める高効率石炭火力等によってグローバルな成長を目指す海外発電事業の推進や、長期的な低炭素化に向けた革新的技術開発への取り組みを、引き続き着実に進めてまいります。

J-POWERグループは、その使命である電力の安定供給を、これまで同様に高い信頼のもとに果たしていく事を通して、日本と世界の持続可能な発展に貢献してまいります。このため、技術、人財、財務のすべてにわたって、事業基盤をより強固なものとする事により、企業価値の持続的成長を目指し、持続可能な社会に貢献してまいります。

J-POWERグループは、企業理念に掲げるミッションの遂行に向けて2013年もチャレンジを続けてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2013年7月

取締役社長

北村雅良